

平成 27 年 3 月 27 日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

電気洗濯機に関する事故(リコール対象製品)について

(詳細は次頁以降参照)

- | | |
|--|-----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
(うち石油ストーブ(開放式) 2 件) | 2 件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
(うち照明器具 1 件、インターホン 1 件、電気洗濯機 1 件) | 3 件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
(うち電気掃除機 1 件、焙煎機(コーヒー豆用) 1 件、
除雪機(歩行型) 1 件、ベビーカー 1 件) | 4 件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

(管理番号 A201400244 及び A201400256 を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

三洋ハイアール株式会社（現 ハイアールジャパンセールス株式会社）が輸入した電気洗濯機について（管理番号A201400874）

①事故事象について

三洋ハイアール株式会社（現 ハイアールジャパンセールス株式会社）が輸入した電気洗濯機を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のモーター用コンデンサの製造工程において、異物が混入していたため、使用中に徐々に絶縁劣化を起こし、内部短絡を起こして出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2010年（平成22年）11月12日にウェブサイトへ情報を掲載するとともに、ダイレクトメールの送付により使用者に対し注意喚起を実施しました。

その後、2012年（平成24年）9月21日にプレスリリース、同年9月22日に新聞社告の掲載を行い、2013年（平成25年）9月12日から電話連絡を行うことにより、対象製品について無償点検・部品交換（コンデンサの交換）を呼び掛けています（三洋ハイアール株式会社（2007年3月解散）が輸入した電気洗濯機も含まれます。）。

なお、今後も更なる無償点検及び無償交換の促進に向けて取組を強化することにしていきます。

③対象製品：製品名、機種・型式、製造番号、対象販売期間、対象台数及び確認方法 製品名：Haier（ハイアール）全自動洗濯機

機種・型式	製造番号	対象販売期間	対象台数	確認方法
JW-Z20A	全て対象	2002年4月 ～2005年10月	12,600	A
BW-Z20A BW-Z20B	全て対象	2002年4月 ～2003年3月	4,320	
JW-Z23A	全て対象	2002年10月 ～2005年10月	19,080	
JW-Z45A	全て対象	2003年1月 ～2004年7月	16,480	
JW-Z50A JW-Z50B JW-Z50C JW-Z50D	全て対象	2003年11月 ～2005年11月	42,628	
JW-K33A	E100001～E102484 F100001～F103036 G100001～G100552	2005年3月 ～2008年8月	6,072	
JW-K50B	E100001～E100800 F100001～F109280	2005年3月 ～2008年8月	10,080	
JW-K50C	E100001～E101440 F100001～F115840	2005年11月 ～2007年3月	17,280	
HSW-23M1	全て対象	2003年1月 ～2003年3月	6,580	B
HSW-233M	全て対象	2003年1月 ～2004年5月	2,160	

HSW-50S1	全て対象	2002年5月 ～2003年8月	40,719	
HSW-50S2	全て対象	2003年5月 ～2005年12月	54,720	
HSW-50S3	全て対象	2004年10月 ～2006年5月	82,887	
HSW-50S5	2200001～2213800	2006年5月 ～2007年2月	13,800	C
合 計			329,406	

2010年（平成22年）11月12日からリコール（無償点検・部品交換）を実施
改修率 13.8%（平成27年2月28日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201400874）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なもの及びリコール開始の契機となった事故を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	3	火災	2011年度	6	火災
2013年度	5	火災	2010年度	1	火災
2012年度	5	火災			

<対象製品の外観（写真はHSW-50S5）>



＜対象製品の確認方法＞

- 1) 確認方法 A（販売元がハイアールジャパンセールス株式会社の製品）
 定格銘板で下記の型式及び製造番号を御確認ください。

Haier
全自動電気洗濯機
JW-Z45A (50/60Hz用)

- 標準水量 41L
- 標準使用水量 117L
- 標準脱水容量 4.5kg
- 外形寸法 幅 537mm 奥行 508mm 高さ 896mm

水位	10	6	4	1
洗濯容量 (・以下)	4.5	2.0	1.0	0.5
水量(L)	41	33	27	15

定格消費電力 345/390W (50/60Hz)

■使用上の注意
 1. 電源は必ずコンセントからとること。
 2. 周囲に間隙をおいて設置すること。
 3. ペンジン・灯油・シンナー・ガソリンなどのついたものは、洗濯や脱水をしないでください。

2003年製 MADE IN CHINA
 ハイアールジャパンセールス株式会社
 大阪市天王寺区生玉町3番25号タマビル10F

配線図

② ハイアールジャパンセールス株式会社

定格電圧	100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	345/390W
標準洗濯容量	4.5kg
定格時間(標準コース)	41分
定格時間(時短コース)	19分

製造番号 **C 100000**

- 2) 確認方法 B（販売元が三洋ハイアール株式会社の製品）
 操作パネル上の製品品番又は定格銘板で型式を御確認ください。

操作パネル上の製品品番を確認



- 3) 確認方法 C（販売元が三洋ハイアール株式会社の製品）
 当該製品の背面又は側面の定格銘板で型式及び製造番号を御確認ください。

Haier
全自動電気洗濯機
HSW-50S5 50-60Hz用 **JET**

定格電圧・周波数	100V・50/60Hz
定格消費電力	345/390W
標準洗濯容量	5.0kg
定格時間	標準コース 48分 洗いのみ 23分
製造番号	0000000

回路図

三洋ハイアール株式会社 MADE IN CHINA

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ハイアールジャパンセールス株式会社

電 話 番 号：0120-865-123

受 付 時 間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：http://www.haier.com/jp/support/haier_washing_machine/index.shtml

（本発表資料の問合せ先） 消費者庁消費者安全課

（製品事故情報担当） 担 当：木原、後藤、清重

電 話：03-3507-9204（直通）

F A X：03-3507-9290

（三洋ハイアール株式会社（現 ハイアールジャパンセールス株式会社）が輸入した電気洗濯機についての発表資料に関する問合せ先）

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：水野、大塚

電 話：03-3501-1707（直通）

F A X：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400870	平成27年3月15日	平成27年3月23日	石油ストーブ(開放式)	SX-E28Y	株式会社コロナ	火災 軽傷2名	当該製品の給油タンクに給油後、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が軽傷を負った。現在、原因を調査中。	福岡県	
A201400871	平成27年3月17日	平成27年3月23日	石油ストーブ(開放式)	SX-E271WY	株式会社コロナ	火災	店舗で当該製品の給油タンクに給油後、当該製品に戻す際に灯油がこぼれ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400244	平成26年7月8日	平成26年7月28日	照明器具	HD785GPL	松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し周辺を汚損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は長期使用(約30年)により、40W用蛍光灯安定器内部の充填材が絶縁劣化し、安定器内部の配線と金属ケース間でスパークを生じたため、近傍の樹脂製カバーが焼損したものと推定される。	東京都	平成26年8月1日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201400256	平成26年4月2日	平成26年8月4日	インターホン	VL-467G	パナソニックシステム ネットワークス株式会社	重傷1名	当該製品を使用中、1名が重傷を負った。 調査の結果、当該製品は、長期使用(約29年)により、フックスイッチの接点表面に酸化物が生成されることによって接触不良を生じたため、受話器を取り外した際に通話状態に切り替わらず、使用者の耳元で呼び出し音が鳴り、耳を負傷したものと推定される。	群馬県	平成26年8月8日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400874	平成27年3月14日	平成27年3月24日	電気洗濯機	HSW-50S5	三洋ハイアール株式会社(現 ハイアール ジャパンセールズ株式会社) (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、当該製品のモーター用コンデンサの製造工程において、異物が混入していたため、使用中に徐々に絶縁劣化を起こし、内部短絡を起こして出火に至ったものと考えられる。	大分県	平成22年11月12日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:13.8%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400869	平成27年2月22日	平成27年3月23日	電気掃除機	火災	店舗で当該製品を焼損し、周辺を破損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	静岡県	事業者が事故を認識したのは3月12日
A201400872	平成27年3月13日	平成27年3月24日	焙煎機(コーヒー豆用)	火災	事務所で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	
A201400873	平成27年3月12日	平成27年3月24日	除雪機(歩行型)	死亡1名	使用者(80歳代)が当該製品を使用中、当該製品の下敷きになり、病院に搬送された後、死亡した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	福島県	
A201400875	平成27年2月24日	平成27年3月24日	ベビーカー	重傷1名	当該製品を開く際に、当該製品で幼児(1歳)が指を挟み重傷を負った。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは3月23日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

照明器具（管理番号：A201400244）



インターホン（管理番号：A201400256）

